

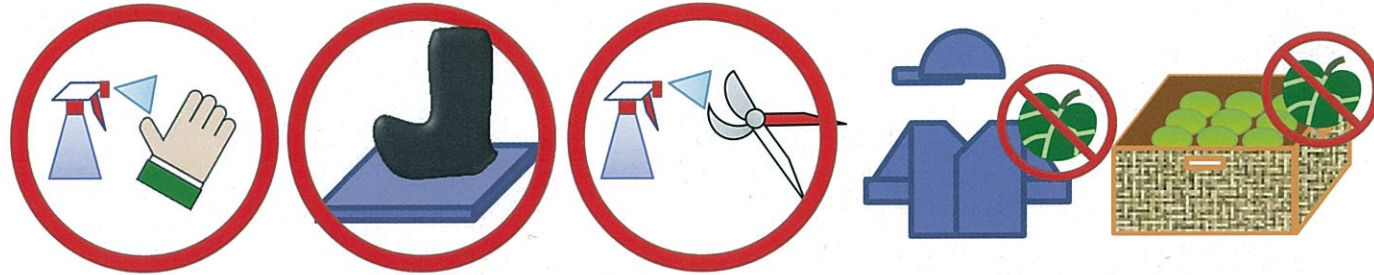
発病前からの予防が重要

Point!



園地の衛生管理

器具や人への病原菌の付着による伝染を防止。



- ◆園地に入りの際は、手*と泥を落とした靴底**を消毒。
- ◆ハサミやのこぎり**は園地ごとに用意し、樹ごとに消毒。
- ◆園地外に出るときには、体や収穫かごなどに付いた植物残さを除去。
- ◆発生園で作業したときは、そのままの服装で他の園には行かない。
- ◆園地に看板を設置し、関係者以外の立ち入りを禁止。

* 手は70%エタノールで消毒。手袋を使用している場合は、園地ごとに交換。

**靴底や管理器具は200ppm(有効成分5%で250倍)以上の次亜塩素酸ナトリウムあるいは70%エタノールで消毒。

症状等が無い清浄な苗木・穂木・花粉等の使用

購入先や購入日、量を必ず記帳。

薬剤防除(予防)

低温を好む病原菌のため、秋～春の防除が重要。



【発行・連絡先】

埼玉県病害虫防除所

熊谷市須賀広784 電話:048-539-0661

埼玉県農産物安全課

さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話:048-830-4053

一般社団法人 埼玉県植物防疫協会

さいたま市大宮区北袋町1-340 電話:048-645-2226

キウイフルーツ

かいよう病緊急対策

全国の産地で強病原性のかいよう病が発生しています。被害が大きく、広がる速度が速く、防除が難しい病気です。

樹液の流出



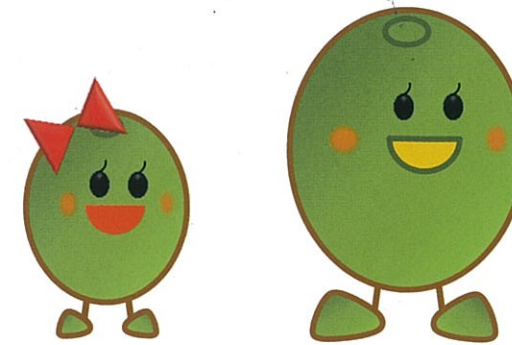
新梢の枯死



葉の斑点



枝枯れ



埼玉県・一般社団法人埼玉県植物防疫協会

かいよう病とは？

大切なほ場を守るために

- ◆ かいよう病は、樹が枯れることもある非常に被害が大きな病気です。
- ◆ 従来から発生していましたが、近年、海外から侵入してきたと思われる新系統が発生しています。
- ◆ この病気は、人畜等への影響はありません。(果実を食べても問題ありません)

早期発見が重要

- ◆ 春(発芽期～開花後, 最も発病が激しい)
枝幹からの樹液の流出・葉の斑点・新梢や枝の枯死等
- ◆ 夏 新梢や枝の枯死
- ◆ 秋 葉の斑点・枝の枯死
- ◆ 冬 枝幹からの樹液の流出

Point!

キウイフルーツかいよう病の発生生態と病徴

下のような写真のような症状を見つけたら、最寄の関係機関に連絡してください。

